

文献紹介

インターネット

インターネット上の医療情報をめぐる課題

三谷博明

医学図書館. 2001 ; 48 (2) : 155-161.

医療系の Web サイトが増え、患者・市民によるネット上の医療情報へのアクセスも積極的になってきているが、医療・健康情報の信頼性の有無は極めて重大な問題である。国内でもMIW (Medical Information Watch) という、ネット上の医療情報の内容を評価・モニタリングする活動が始まっており、今後は国家レベルでの、質の高い医療情報が提供される社会情報基盤の整備が求められる、と提言している。

わが病院の医療情報発信とホームページの活用戦略

神野正博

病院. 2001 ; 60 (7) : 600-604.

医療機関が生き残っていくためには、戦略を立て積極的な広報活動を行っていく必要があると述べ、その選択肢の一つとして、インターネットホームページを利用した情報発信と活用の事例を紹介している。

HTML 入門ーホームページをつくらう

長谷川真知子

はずびたるらいぶらりあん. 2001 ; 26 (2) : 107-111.

ホームページ作成ソフトは便利ではあるが、なかなか自分の思いどおりの画面ができないというマイナス面がある。HTML 言語は難解なイメージがあるが、知っているの良い点がたくさんある。HTML 知識の必要性がよくわかる。

簡単・きれいオフィス文書の印刷テクニック33

伊佐恵子 他

日経パソコン. 2001 ; 391 : 118-139.

OfficeソフトやWebブラウザから手早くきれいに印刷するためのテクニックが紹介されている。基本をおさえ、ほんの少しの工夫をすることで効率良く印刷できるようになり、業務の省力化にもつながる。

図書館員

Study to access the compensation and skills of medical library professionals relative to information technology professionals

Weise FO, McMullen TD

Bull Med Libr Assoc. 2001 ; 89 (3) : 249-262.

医学図書館員は Information Technology の専門家としての役割を果たしているが、IT部門の専門職員に比べて補償や立場の点でギャップがあると述べている。現状を把握するために医学図書館員550人を対象に調査を行い、今後の対策を検討している。

Raising the bar: the importance of hospital library standards in the continuing medical education accreditation process

Gluck JC, Hassig RA

Bull Med Libr Assoc. 2001 ; 89 (3) : 272-276.

CSMSによる医学継続教育プログラム評価事業の調査チームに図書館員が加わったことによる、図書館側の変化の事例紹介。病院図書館員が外部活動を行うことは、院内での図書館の状況を良い方向に変化させるための一つの重要な方法であると述べている。

基本的臨床能力としてのコミュニケーション技法 [1]ーコミュニケーションの基本：4つの要素と4つの交流ー

伴信太郎

文献紹介

診断と治療. 2001 ; 89 (6) : 1017-1022.

コミュニケーション一般についての解説。コミュニケーションを4つの要素と4つの交流という2つの側面から検討し、その良し悪しにより相手の満足度が大きく変わってくると述べている。

ストレスと行動科学

坂野雄二

診断と治療. 2001 ; 89 (5) : 825-829.

臨床場面での応用が期待される「ストレスマネジメント法」について、行動科学の立場から解説している。また、日常診療に役立つヒントとして実践的なストレス対処法も紹介されている。

患者図書館

患者へのわかりやすい医療情報提供サービス「からだのとしょかん」の現況報告

有田由美子

ほすびたるらいぶらりあん. 2001 ; 26 (2) : 127-130.

独立した患者図書室発足までの経過、その活動内容、利用者の反応などについてアンケートや統計を加えて具体的に説明している。司書が提供した医学情報の内容や利用者の反応なども書かれている。今後の課題等も含め、参考になる点がたくさんある。

診療ガイドライン

ガイドラインはどのようにして出来るのか
林同文 他

診断と治療. 2001 ; 89 (9) : 1408-1413.

診療ガイドラインの開発目的や実際の手順、その問題点などが簡単にわかりやすく解説されている。欧米諸国の現状や今後の課題も紹介されており、概要を知ることができる。

ガイドラインとEBM

小出大介

診断と治療. 2001 ; 89 (9) : 1414-1420.

EBMの基本と実践方法を説明した後、診療ガイドラインとEBMの関係や、EBMに則ったガイドラインの使用法、使用上の注意点などについて述べている。近畿病院図書室協議会でも、公式事業としてエビデンスに基づいた診療ガイドラインの策定に参加協力しており、図書館員の専門知識の一つとしておさえておきたい。

- 文献の入手は、所蔵館へお申し込みください。
- 「情報の科学と技術」・「Bulletin of the Medical Library Association」は協議会で購読しています。
- 興味ある文献を分かちあいましょう。参考になる文献がございましたら、会誌編集部までお知らせください。